

### 3 青梅の動植物

自分の住んでいる場所にはどんな鳥や虫やけものが住み、どんな木や草が生えているのか、調べてみましょう。できれば観察した事柄を記録しておくといいでしょう。青梅市は周囲に山が迫っていますので少し歩けば、野生の動植物を観察することができます。ぜひ自分の足で土の感触を、また木々のささやきや木漏れ日の暖かさ、小鳥のさえずりや小動物の足音を聞いてください。

#### ①成木川流域と霞川流域

成木川を見てみますと、上流部には植林された杉の林がうっそうと繁っていますが、深山を思わせる植物も見られます。ヤブレガサ、ツリフネソウ、カントウタンポポ、また、わさび田も見られます。周辺にはモリアオガエルが生息し、ヤマメ、アユなどの魚もいます。残念ながらカジカの姿は見られなくなりました。大型の哺乳類ではイノシシ、シカ、カモシカ、サルが時折姿を見せるそうです。雨の少ない時には七中の近くの川にイノシシが水を飲みに来るといいます。ムササビの姿も見られるようですし、タヌキも民家や校庭に現れるということです。リスがクルミを食べに成木川沿いの民家のえき台にまでやっています。

霞川は天寧寺の北側にある池を源流部とし、支流には風の子太陽



ツリフネソウ



ムササビ



ミヤマカラスアゲハ

の子広場の奥から流れ出す小川があります。現在コンクリートで固められた川になっていますが、かつては流域が田んぼの名残になっていて、ひとたび大雨が降れば洪水を起こしたそうです。その田んぼの名残が今寺に残っています。春にはたくさんのレンゲが咲き、空にはヒバリが鳴いているという日本の田園の原型がうかがわれます。しかし周囲は住宅地となり、縦断している道路は舗装され大きい車が行き交っています。一時汚れていた霞側はコイやフナやハヤなどが泳ぎ回るまでになりました。その魚をねらって、近年コサギ、ゴイサギ、カワセミなどが姿を現しました。考えてみれば少し前までは日本の田んぼにサギの群れが、ドジョウや小魚、たにしやザリガニをねらってたくさん集まっていたものでした。

塩船観音の境内から続く霞丘陵には雑木林が続き、谷筋には細い流れが確認できます。タカに襲われたと思われるハトの羽が散らばっていたりしますし、空を注意して見ればオオタカ、チョウゲンボウ、ツミなどのタカ類の飛んでいるのが見られます。冬にはツグミ、シジュウカラ、ヤマガラ、



カウソ

ホウジロ、カシラダカ、カワラヒワ、などが観察できます。

風の子太陽の子広場の湧水地から流れる水場は、小鳥たちの水浴び場になっています。アトリ、ヤマガラ、ヒヨドリがいました。夏にはカッコウ、ホトトギス、アオゲラなどの姿を見ることができます。雑木林にはウグイス、メジロ、シジュウカラ、カワラヒワ、エナガなどが飛び交っ

ています。コゲラも木をつついていきます。警戒心の強いカケスが群れになって木の間を飛び回っています。コジュケイも鳴いていますし、ときには足元から飛び立ち人を驚かせます。リスが樹上を走り回る姿も見られますし、タヌキもいるようです。以前にはノウサギもいましたがさいきんはほとんど見られなくなったといえます。



雑木林



ヤマガラ

## ②青梅市東部の台地地域

新町地区は台地で水利が悪く陸稲、小麦、芋類などが栽培されていましたが、昭和30年代から水道の普及により宅地化が進み、かつてのおもかげはなくなりましたが、都立畜産試験場とその近辺には平地林であったころの雑木林が一部残されています。そこではアオゲラ、シジュウカラ、ウグイスなどの小鳥の姿を見ることができます。また、数は少ないですが昔放鳥されたというキジのつがいや親子連れも見られますが、これは雑木林が広がっていたときの名残でしょう。

## ③多摩川流域

多摩川には多くの水鳥が見られます。特に冬場はカモの仲間が渡って来ます。ヤマセミはつがいで川筋を登り下りしていますし、河原に腰をおろし静かにしていると、目の前にカワセミがとまったりもします。通年カワガラス、キセキレイ、セグロセイレイ、ハクセキレイ、イカルチドリがいます。ホウジロも川沿いの木にとまり、美声を聞かせます。川沿いの茂みでは、コジュケイが「ちょっとこい、ちょっとこい」と鳴いています。カルガモは四季を問わず、コガモ、オナガガモは秋、冬から初春にかけて羽を休めています。カワウ、ゴイサギ、ササゴイも数は少ないですが、見ることができます。

河岸段丘の崖部にはかつてアラカシ、アカガシ、ヤブツバキ、シロダモなどの照葉樹林がありました、



シジュウカラ



セグロセキレイ



ヤブツバキ

現在はマンションの林立によってまばらな樹林となっています。

多摩川の南側の畑中には、標高400mの赤ぼっこという山があり、丘陵が日の出町、あきる野市に続いています。杉林が中心の山ですが、雑木が残っています。大きな動物は見られませんが、リスが生息しています。春から夏にかけてサンコウチョウが雛をかえしていましたがし、キビタキ、クロツグミが美声を競っています。馬引沢には小魚が見られ、サワガニもいます。尾根筋に立っているとあきる野市に続く山並からオオタカの勇姿もうかがえ、ときにはハチクマが上空を飛翔することもあります。



ハチクマ



キジ